

# 常葉学園だより

本部  
院院  
園園  
大大学  
學學  
常常  
浜富  
常常  
葉葉  
學學  
園園  
高等高  
中中  
常常  
葉葉  
學學  
園園  
橘橘  
高等高  
中中  
常常  
葉葉  
學學  
園園  
大學大學  
教育教  
學學  
附屬屬  
橘橘  
小小  
常常  
葉葉  
短短  
大大  
附屬屬  
ちばな  
幼稚幼  
園園  
常常  
葉葉  
學學  
園園  
医療專門學校  
常常  
葉葉  
學學  
園園  
靜岡リハビリテーション専門學校

第186号



第25回オーケストラ学習発表会 常葉学園大学教育学部 附属橘小学校 平成20年12月16日 静岡市民文化会館大ホール

常葉学園大学教育学部  
附属橘小学校教諭

加藤直子

## から 論と実践 の意識改革 —「教職大学院・一年の学びを終えて」—

この一年の学びを通して、現在の学校現場はいかに多くの課題を抱え、対応しきれなくなっているか。また、現場にゆとりがなくなり後輩を育てる機能も薄れ、指導力不足や不適格といった教員倫理が常に問われる現状を知った。課題は山積みだが、教員資質としていつの時代でも大切なのは「熱意と使命感」ではないかと思う。日々の教育活動を通した子どもとの信頼や保護者との信頼を築く事が学校運営の根本であり、それを支えるのが自己を省察し、見直し、改善できる資質能

力をもつた教師なのかもしれない。

一年前は「木を見て森を見ない」というように、小事にとらわれ大事な事を見失っていた。だが今は違う。少しずつではあるが置かれている状況や立場を把握して、本質を見ようと思う。

『今日は、一日中部屋に居ました。・・・たぶん明日も学校に行けないと想います。・・・皆の中で自分だけ違う気がします。』「子どもからこんな連絡があつたらどう答えますか。」これは、実践的カウセリング研究の授業だ。教職16年、21年目の中堅教員と学部新卒学生が3グループを作り討議する。現職教員学生と学部新卒学生が刺激し合えるのも利点である。この事例に対してさまざまなかいでの声掛けが考えられた後、カウセリング理論が解説される。理論と実践の融合を目的している教職大学院ならではの授業である。

従来の大学院は、研究者養成に比重が置かれていたが、教職大学院では、学校現場の具体的な課題を示した上で、対処法とそれを裏付ける理論に向かう展開。決して理論の押しつけはない。また、学んだことを実践に生かすための実習も、11月から12月にかけて連携協力校において行われた。学校組織の一員である意識が高まつたとともに、学校現場を客観的に見ることができた。学校の閉鎖性も指摘される昨今だが、教職大学院を軸に現場との交流が進めば、温度差は埋められる。私たちは、常に教育の対象は子どもであり、学校現場の教室こそが、教職大学院の研究のフィールドだと感じた。

2006年7月に中央教育審議会が提言し、2008年に全国19校の一つとして認可を受け、開設された本学教職大学院がこの程一年を迎える。「実践的な指導力・展開力を備えた新人教員」と「確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダー」を養成するのが主な目的であり、一期生には、学部新卒学生10名と現職教員学生8名が在籍する。私も現職教員として学ばせて頂く機会を頂いた。

# 2008年 10大ニュース

常葉学園だより

(2)

- 1 浜松大** 健康プロデュース学部完成年度・大学院健康科学研究科 設置認可  
保健医療学部 理学療法・作業療法学科 設置認可(医療専 四大化)
- 2 常葉学園大** 教職専門職大学院 開設 現職教員入学
- 3 浜松大** 創立20周年 橋小 創立30周年記念式典
- 4 野 球** 菊川高 ——甲子園 春・夏連続4季出場  
——夏全国準優勝  
橋 高 ——春 2年連続県優勝・東海大会で初優勝
- 5 サッカー男子** 浜松大 ——全日本大学選手権出場  
橋 中 ——全中総体 ベスト8  
**女子** 橋 高 ——全日本高校選手権 ベスト8(2年連続)  
橋 中 ——全日本ユース(U-15)選手権出場(4年連続)



## 常葉学園 合同新年祝賀会 開催

平成21年1月9日(金)  
於 ホテルアソシア静岡

## 常葉学園大学 教職大学院 外部評価委員会が設置される



教職大学院外部評価委員会  
1月7日、海野学長から7名の外部評価委員が委嘱され、岩崎武士氏が座長として選任された。今後、外部評価委員の方々から、教職大学院の設立理念、教育課程、教育の成果、教育環境、管理運営、教育の質の向上など様々な項目について幅広い視点からの意見をいただき、一層充実した運営に生かしていきたい。

外部評価委員の方々には、当日行われた実習III「学校運営・経営、地域連携」の報告会に参加していただいた。院生たちが教育への願いを集結して作成した「グランドデザイン」を中心とした報告に対し多くの励ましをいただいた。

常葉大

**バスケ男子** 浜松大 ——全日本大学選手権出場(2年連続)

**女子** 常葉高 ——全国総体 ベスト8  
——県高校選抜5連覇(史上初)  
——全国高校選抜 ベスト8

- 7 個人種目 新体操** 常葉高 ——全国高校選抜 安本恵理 個人総合3位  
**水 泳** 富士大 ——日本選手権飛込(1m板飛込) 永井 瞬 優勝  
——日本選手権飛込(1m板飛込) 内藤有美 3位
- 8 10月** 第13回常葉学園連合体育祭開催
- 9 橋小学校** オーケストラレッスン室(わくわくホール)完成  
瀬名団地内の塚田寮北用地をたっぷり幼稚園新園舎として取得
- 10 12月** 第25回橋小学校オーケストラ学習発表会  
(どこは幼稚園参加)

## 海野晴男副理事長 文部科学大臣より 私立中学校高等学校教育振興功労者表彰



去る11月11日、東京の市ヶ谷私会館で行われた『日本私立中学校高等学校連合会創立60周年記念式典』において、海野副理事長が塩谷立文部科学大臣より「私立中学校高等学校教育振興功労者表彰」を受けました。これは中学校、高等学校制度が創設され60周年になるのを記念して設けられたもので、これまで私立中学校、高等学校の教育に長く従事し、私立学校教育の振興に寄与された海野副理事長の顕著な功績が認められたものです。

常葉  
短大

## 第10回シトラス文学賞選考結果

10回を迎えた節目の年の短歌と俳句の特選に選ばれたのは、

【短歌】漆黒の水面に浮かぶ長い月

今の僕には高く遠くて

井出 幸伸(加藤学園暁秀高等学校3年)

【俳句】合格を絵馬に託して蟬時雨  
杉山りか(常葉学園高等学校3年)



平成20年12月6日(土)、常葉短大的学長室で表彰式を行いました。二人とも受験を意識した作品になつており、高校生らしさが評価されました。



## 富士山麓 アカデミック&サイエンスフェア2008 ~研究成果を学生が発表~

富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2008が12月11日ブケ東海沼津において開催されました。この会は富士山麓エリアにある高等教育・研究機関が一堂に会して、研究成果を発表し、相互の交流を深め、地域の活性化に資することを目的に10年前から開催されています。本学は今回、初めて8人の学生(4研究室)が参加をしました。中にはベストボスター最優秀賞を受賞した研究課題もあり、大きいに成果が上がりました。

富士  
常葉大

ユニバーサルデザイン  
優秀賞

常葉高



第9回しづおかユーパルサル大賞において高校2年6組の池田奈津希さんが優秀賞に選ばれました。「指に装着するベン」というアイディアで指が不由な方でも装着すれば文字が書けるというものです。審査委員長からも「大変便利」とお褒めの言葉を頂きました。



常葉大

## マーナップキャンペーン

## ～ペットボトルのキャップがワクチンに～ 学友会



今年の学友会年間活動のひとつとして「みんなの工コ宣言～青い地球をつくるう～」と題し、学友会役員自ら「エコパック常備」「割り箸使わない!マイ箸つくつちやいました!」「ゴミの分別」使わない電気はすぐ消します!（節電・節水を心がけ）等工コ目標を掲げた。そして、学生全体へマナーアップの一環として「ペットボトルのキャップを集め世界の子どもにワクチンを」と日々の大学生活や大学祭等の行事で呼びかけを行った。その結果44,346個のキャップが集まつた。キャップはエコキャップ推進協会に送付し約55.4人分のポリオワクチン（800個）でポリオワクチン1人分の購入が可能。代金となりNPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付される。マーナアップキャンペーンは今後も継続予定である。



常葉高

イギリス  
語学研修

橋小

マンマーサイクロン義援金  
お礼と報告の会

児童会の呼びかけで昨年実施した「マンマーサイクロン義援金」が無事現地に届けられました。そのことを伝えるために、

マンマー（アウンタングウーさん（県立大大学院生））が来校し、朝の集会にて詳細な報告をしてくださいました。このサイクロンはマンマーでも過去最大の規模で、被災地はイワラジ管区をはじめとする5地域におよび、死者行方不明者は14万人にも及んだとのことで、被災地へと、米等の必需品にかけて届けられました。

菊川高

美・デ科  
パリ研修

シェークスピアが生まれた町として有名なストラッセンフォード・アポン・エイボンで、人間文化コースの2年生が2週間の研修を行いました。イギリスを代表するお菓子、スコーンを作ったり、ナショナルトラストの活動を見学したり、体験重視のプログラムで、イギリスの家庭の温かいおもなしを感じる研修となりました。

国際フォーラム  
～21世紀の環境と  
国際教育を考える～富士  
常葉大

12月5・6日の2日間にわたり、本学において県科学交流フォーラム「21世紀の環境と国際教育を考える」が開催されました。このフォーラムでは本学・県内大学と国際交流協定を結んでいるアジア地域の大学研究者を招待し、「環境教育」「防災教育」「留学生教育」「国際交流」についての研究発表をし、意見交換をしながら「ユーロプロロヂュース」を提言しました。

ブラジル人学校で栄養講座  
一浜松大健康栄養学科一

浜松大

静岡県高等学校英語対話弁論大会



橘高

B  
A  
C

頑張る英学科

38名が12月19日(金)～25日(木)までパリ研修旅行に行つてきました。美術の都パリで、ルーブル美術館、オルセー美術館等の本物の作品に触ることができ、とても貴重な体験をしました。この体験を今後の制作活動に活かせる様にしていきたいです。

11月29日(土)に常葉大学

で行われた第25回静岡県高等学校英語対話弁論大会で、野友貴ペアがA組で第2位、忠・鈴木将人ペアがB組で第3位に入賞しました。

11月28日、健康プロデュース学部健康栄養学科小田巻ゼミの学生とNPOネットワークセンターが共同で浜松市内のブラジル学校のこどもたちを対象に栄養講座を開き、食習慣や健康管理の大切さを講義しました。

学生らは健康維持に必要な栄養素を分かりやすく図で説明したあと、子どもたちと一緒に体操を楽しみました。

浜松大

イシカレ初の表彰台!

(女子剣道部)

全日本選手権、  
全日本U18選手権、優勝!!

橋高

杉山慶介君、法政大学野球部へ!!

11月9日、第27回全日本女子学生剣道優勝大会(女子インカレ)が開催され、女子剣道部が見事第3位入賞を果たしました。浜松大は優勝した筑波大と対戦するまで相手校に1本も許さず、筑波戦においても真っ向勝負を挑み、堂々たる試合を展開しました。

試合後、選手一人一人の顔に、納得する試合ができたという充実感と満足感が溢れ、素晴らしい涙を流していました。

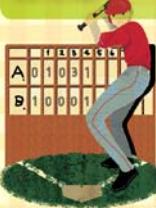


浜松大

サッカー部

【左】ヴァンフォーレ甲府  
DF 東間勇気  
(経営情報学科4年)  
【右】カターレ富山  
FW 桜井正人  
(国際経済学科4年)

野球部



富山サンダーバーズ  
上田真幸外野手  
(経営情報学科4年)



サッカー部・野球部で続々とプロ入り

日々努力を継続して参りました  
不食」の精神で、日々努力を継続して参りました  
と思います。



常葉高校  
バスケットボール部  
創部40周年

医療専

第13回 繁進祭

11月2・3日に第13回繁進祭が行われました。毎年恒例の模擬店や学科紹介に加え、今回は初めて屋外ステージを使用し、多くの催物が行われました。

快晴の秋空の下、2年生を中心とした実行委員が頑張る姿が印象的でした。また、

去る1月8日に防災訓練を行いました。本校では、学生及び教職員の防災意識の高揚に努め、毎年1月と9月に防災訓練を実施しています。今回は、地震により火災が発生したという想定で行い、初めて全学年が揃っての防災訓練となりました。『災害は忘れた頃にやってくる』という諺の通り、地震はいつどんな時に起こるかわかりません。訓練

創部3年目を迎える橋高校女子サッカー部です。女子サッカー部には、年間で3つの大きな大会があります。全日本高校選手権、全日本選手権、全日本U18選手権です。私たちはまず、これらの大会すべてで県No.1になります。高校選手権では惜しくも準優勝でしたが、他の2大会は優勝を勝ち取ることが出来ました。来年度はいよいよ3学年が始まります。全国トップクラスを目指し頑張りますので今後の活躍に期待してください。

静岡  
リハ専

第2回 防災訓練



声が絶えることありますんでした。毎日学業に励んでいる学生達のよい息抜きになつたので

がないのでしょうか。  
が参加し、笑い  
中夜祭では肌寒い中多くの学生  
が参加し、笑い  
声が絶えること  
はありませんでした。毎日学業

山慶介君が、スポーツ推薦で、法政大学に合格しました。橋高校から東京六大学野球に進むのは、去年明治大学に進学した館岡昇君に続いて2人目の快挙です。チャンスに滅法強く、4割近い打率を残し、県下一を誇った公式戦36本のホームランや堅い守備などが高く評価されました。今後、早稲田大学のハンカチ王子こと齊藤佑樹投手との対決も楽しみです。

常葉大

## 浜大生が授業支援

浜松大

健康プロデュース学部心身マネジメント学科の学生を中心としたボランティアサークル「サンダーバード」の学生9人が、浜松市浜北区の龜玉小で行われた授業参観会で、授業の進行をサポートする「学習ボランティア」を行いました。教職課程も学ぶこの学科は、1年生の体育と、4年生の算数の授業を担当しました。体育の授業では、教師の指示に従いながら、児童と一緒にドッジボールなどで汗を流しました。

心身マネジメント  
学科

医療専



柔道整復認定実技審査

## 教員採用試験合格体験報告会



お兄さん、お姉さんと一緒に食べておいしかったね

常短生とお給食

たちはな  
幼

11月9日、柔道整復研修試験財団が行う「認定実技審査」を柔道整復学科の3年生38名が受験しました。「認定実技審査」とは卒後の臨床現場で必要な骨折や脱臼の「整復」、包帯等の「固定」と柔道の技術を審査するもので国家試験の中の1つです。授業時間以外でも、技術向上のために練習を重ねた結果、全員が合格することができました。

1月31日に常大で外国語学部共同研究会による、「小学校外国語活動教員研修会」が開催された。2011年からの必修化の動きを受け、県内外から130名もの現職教員、名の学生が参加した。今、題の「英語ノート」の効果的使い方に関する基調講演、ミニナー、分科会と参加者の熱気が会場に溢れた一日であった。

常葉大

## 小学校外国語活動教員研修会

ここは  
幼

幼稚園や公園、いろんな所でマラソンしてるよ

冬でも  
ポカポカ

平成20年12月19日に、教員採用試験合格体験報告会が実施されました。告会が実施されました。本年度の教員採用試験に現役合格した76名の4年生の中から選抜された4名が、これまで自分がやつてきた勉強や試験に向けての気持ちの在り方にいて等を熱く語りました。先輩からの貴重なアドバイスを受け、参加者も来年の試験に向け気持ちを新たにする時間となりました。

生の中から選抜された4名が、これまで自分がやつてきた勉強や試験に向けての気持ちの在り方にいて等を熱く語りました。先輩からの貴重なアドバイスを受け、参加者も来年の試験に向け気持ちを新たにする時間となりました。

内訳	学生・生徒・児童・園児						教員職員			合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育職員	事務職員	非常勤教員	
学校							54		35	89
学園本部	4	8					12		4	4
大学院							18			
教育学部	134	124	136	102	496	52	15	69	9	145
常葉大学	73	53	69	75	270					
外国語学部	69	70	67	76	282					
造形学部	111	130	117	125	483	30	10	57	3	100
医療専門学部	61	76	66	51	254		265	11	3	57
看護学部	76	65	61	63	230		149	11	6	53
合計	546	526	516	492	2080	93	28	171	14	306
大学院	19	20					39			13
ビジネス学部	85	140					225	30	4	16
情報学部	116	114					193			
健康科学学部	69	76	82	80	307	45	11	90	5	151
浜松学部	27	33	71	62	193					
経営学部	105	128	102	99	434					
理学療育学部	27	33	71	62	198	23	6	34	9	72
保健学部	84	65			53					
留学生別科					41					
合計	41	511	562	511	2046	109	25	184	17	335
日本語日本文学科	48	55			103	7	4	29	2	42
英語文学科	71	70			141	9	3	16	1	29
保健学部	203	222			425	18	9	66	4	97
音楽学部	42	51			93	9	3	67	2	81
国語国文學科	8	5			762	43	19	178	9	249
音楽等攻	14	17			845	43	19	178	9	249
音楽等攻	21	18			577	30	4	22		56
音楽等攻	54	70	45		142	9	1	9		19
音楽等攻	39	40			719	39	5	31		75
中学校	258	323	372		119	50	7	46		103
小学校	78	61	56		195	12	1	9	1	23
中学校	336	384	428		1148	62	8	55	1	126
小学校	349	310	313		969	56	6	46	3	111
中学校	46	50	60		156					
中学校	392	360	373		1125	56	6	46	3	111
中学校	54	70	45		169	11	1	7		19
中学校	446	430	418		1294	67	7	53	3	130
幼稚園	59	65	63	65	59	374	27	2	21	52
幼稚園	15	85	68	103	271	11	1	5		17
幼稚園	15	72	92	80	259	8	1	7		16
理学療法学部	32	41	43	31	147	27	6	101	2	136
作業療法学部	16	26	46	34	122					
鍼灸学部	24	27	22		73					
柔道整復学部	20	31	38		89					
合計	82	125	149	65	431	27	6	101	2	136
常葉静岡リハビリテーション病院	71	71	75	63	280	9	4	37	1	51
環境情報専門学校					55				25	80
総合計	3081	3379	2966	1669	65	59	11219	558	244	961
									126	1889

## 富士常葉大 合同企業ガイダンス“2009”



本学3年生を対象に、去る1月14日、「合同企業ガイダンス2009」がホテルグランド富士にて開催されました。本格的な就職活動を控え、県内外より官公庁、製紙、金融、自動車販売、製造等56社の面談ブースが開設、学生達は積極的に各ブースを回り、人事担当者の説明を熱心に聞き入っていました。

## 静岡リハ専 1・2年生後期試験開始



本校では毎年、新年明けてすぐに、1・2年生、2月には3年生の後期試験が行われます。1年間、学習してきた知識の正誤が試される重要な試験です。試験結果を真摯に受け止め、知識の不足を補い、誤りを正しながら、国家試験合格という大きな目標に向かって、今後も学習に励んでいって欲しいと、教員一同、願っています。

## 浜松大 上海で留学生の同窓会開催



11月25日夜、上海で留学生の同窓会を開催しました。浜松大学・同大学院及び富士常葉大学の卒業生10名と、常葉学園からは入学試験で中国を訪問していた浜松大学、富士常葉大学そして本部の10名が参加しました。参加した人数は少な目でしたが参加した卒業生らは現在IBM、ソニー、トヨタ、パナソニック等の企業で活躍しており、常葉学園を卒業した留学生が日中の掛け橋になっていると感じ、うれしく思いました。

## 常葉短大 保育科秋期セミナー報告



今年は新しい試みとして、短大を会場にした「秋期セミナー」を11月29日(土)に行いました。講師は現在子育て支援を語らせたらこの人という大豆生田啓友先生で「いま、求められる家庭連携と子育て支援」という題で講演していただきました。土曜日の午後に行ったのは、保育現場で活躍されている卒業生の方々のご意見からでしたが、アクセスが悪いなか学外からの参加者が50名近くあり、感想からも大変よい学びの機会になったことが伺えました。それに加えて本科生、専攻科生の参加が20名もあったことは嬉しいことであり、会場の熱気が学生に何かを伝えてくれたことと確信しています。

## 平成20年度学生大会



12月16日に学生大会が開催されました。今回は新規学生会役員選挙を兼ねたもので、保育科1年生久保田愛美新会長他3名の副会長が選任され、来年度新執行部が決まりました。新執行部を担うこととなった4名は学長に「何かと先行きが不透明な現在社会と反比例して、短大生らしく元気の出る学生会を運営していきたいです。」と抱負を伝えました。来年度学生達の活気あふれる学生生活が今から楽しみです。

## 常葉中・高 吹奏楽部定期演奏会



今年も盛り上がった定期演奏会。当日は、1,200人のお客様が足を運んで下さった。大好きな仲間と奏でられた音楽。三年生にとっては集大成の演奏。込み上げてくる涙をこらえて沢山の思いを胸に最高の合奏が披露できた。

## 常葉大 外国語学部講演会 ～「働く話学」～



外国語学部には学内組織として、「言語文化研究会」があります。研究会の活動の一環として外国语関連分野の著名な方をお招きして毎年講演会を開催しています。平成20年度は11月20日に、NHKラジオ英語講座で有名な遠山顕先生に「働く話学—英語を使って働く前に知っておきたいこと」というタイトルで講演をしていただきました。「使える英語」をどのように学習したらよいか、遠山先生ご自身の経験に基づいた具体的なお話でしたので、学生たちにとって大変参考になったと思います。なお、この講演会には本学の学生だけでなく、一般の方々も参加していただき、大変好評でした。

## 外国語学習支援センター ～オープンから半年～



外国語学習支援センターのコンセプトは「いつでも、誰でも、時間が空いた時に」。教員やティーチングアシスタントが常に待機し、相談や英会話練習に対応しています。また、パソコンの英語学習ソフトを利用し各自が自由に自学自習できます。検定対策として、TOEFL、TOEICでは個々のレベルに合わせた練習問題を用意して配布しています。英検は外国人教員による模擬面接練習を徹底。今年度は11名の準1級合格者を輩出しました。ハロウィンやクリスマスの時期にはイベントを企画して学生同士の交流を深めました。英語やスペイン語での弁論大会の前はスピーチの練習に来る学生で賑わいました。

**橋高****雪のカナダへ**

英数科2年生61名は、12月23日(火)～27日(土)、3泊5日のカナダ修学旅行を行ってきました。バンクーバーは約40年ぶりの大雪で、町全体が白銀の世界。

氷点下の寒さの中、一年で一番



大切なクリスマスの日々を、ホームステイ先の家族と過ごしました。短い期間でしたが、文化の違いや人々の温かさ、そして英語の大切さを感じることができ、一生の思い出となるものになりました。

**『寒さなんかへっちゃら！外あそびだ~いすき^v^』**

歩き広場では「こっちおいで！」「いっしょにやろう！」と声をかけたり、面倒をみながら汽車ごっこ、フープくぐり、ジャンプなど楽しんで遊びました。風が冷たかったけれど友だちと一緒になら心までホッカホカ！寒さに負けず、元気いっぱい遊んでいます。

**ところはインフォメーション**

浜松大	▶ 春のオープンキャンパス	3月21日(土) 10:00～12:00	浜松大学	学部・学科紹介・学科イベント・個別相談・施設見学など
富士常葉大	▶ 春のオープンキャンパス	3月28日(土) 10:30～15:30	富士常葉大学	大学全体説明・学部説明・おもじろ授業体験・保護者ガイダンス・パネルディスカッション・学部生による研究発表・各学部展示・個別相談・キャンバスツアー・他
常葉短大	▶ 常葉学園短期大学 音楽科 卒業演奏会	3月11日(水) 18:00～	静岡音楽館AOI	音楽科本科生による演奏会
	▶ 常葉学園短期大学 音楽科 終了演奏会	3月12日(木) 18:00～	静岡音楽館AOI	音楽科専攻科生による演奏会
橋中・高	▶ 第26回常葉学園百人一首カルタ大会	2月21日(土) 13:00～	橋高校(和敬庵)	小学校から大学生までがカルタを楽しむ

たこたこ  
あ～がれ!!

冷たい風が吹く中年少児が歩いて城北公園まで凧あげに出掛けました。約3kmの道のりを一生懸命お友達と手をつないで歩くこと50分…ようやく目的地に到着！ちょっと疲れていきましたが、折り紙で作った手作りの凧を出すと再び元気が出てきて「先生があがったよ～見て見て～。」と大喜びでした。時々夢中になり過ぎて凧がからまってしまうアクシデントもありましたが…空にあがる凧に満足な様子でした。いっぱい歩いて、いっぱい走った後のおにぎりはとても美味しいあっという間にごちそうさまでした。帰りはバスがお迎えに来てくれてホッとひと安心。寒さに負けず楽しい1日を過ごしました。

たのしい  
ようちえん



獅子舞が  
きたあ!!

日本古来の伝統芸能の獅子舞が、たちばな幼稚園にやってきました。見たことがない子も多く、子ども達はドキドキ！！

音楽と共に獅子舞が登場すると、子ども達は驚いた様子で獅子舞の動きに釘づけになっていました。

勇気ある年長さんが頭にみかんを乗せ、獅子舞にみかんを食べてもらうことに挑戦。緊張しながらも皆からの「がんばれ！！」の応援もあり、うまくみかんを食べてもらい、子ども達にも笑顔がこぼれました。

最後に獅子舞の頭をなでた子ども達。きっと今年一年良いことがあるよ。

**附属橋小学校同窓会、盛大に開催される 橋小**

長い間の念願となっていた、同窓生による同窓会立ち上げが、平成20年11月29日、キャスルホテル佐乃春にて盛大に開催されました。会には、学園長先生はじめ、元校長、教頭先生をお迎えし、同窓生百数十名(20歳以上)参加のもと、役員選出、同窓会規約すべて承認され、狩野忠孝同窓会長を頭に、新たな一步を踏み出すことができました。この日を待ちわび、遠路より駆けつけた同窓生も多く、閉会後も席を立つ人が少なく、名残り惜しそうにしている姿が印象に残りました。

**第35回卒業制作展に向けて 菊川高**

第35回卒業制作展が2月24(火)～3月1日(日)の期間にクリエート浜松で開催されます。油絵・日本画・彫刻そしてデザインの作品60点余りが出品、展示されます。作品内容は本校美術・デザイン科で生活し、学んだことを絵や立体に表現したものです。イメージを具体的にし、推敲を加えて個性豊かな作品になっています。高校生らしい感性と懸命に取り組んだ時間の中から生まれた力作ぞろいの発表会です。表現方法の違いはありますが、“自分の意見を述べる”姿勢はどの作品からも感じられます。

生徒たちの美術・デザイン科高校3年間の(学業を)集大成した作品展をぜひ御覧下さい。

たちばな  
幼

獅子舞が  
きたあ!!

日本古来の伝統芸能の獅子舞が、たちばな幼稚園にやってきました。見たことがない子が多く、子ども達はドキドキ！！

音楽と共に獅子舞が登場すると、子ども達は驚いた様子で獅子舞の動きに釘づけになっていました。

勇気ある年長さんが頭にみかんを乗せ、獅子舞にみかんを食べてもらうことに挑戦。緊張しながらも皆からの「がんばれ！！」の応援もあり、うまくみかんを食べてもらい、子ども達にも笑顔がこぼれました。

最後に獅子舞の頭をなでた子ども達。きっと今年一年良いことがあるよ。